

## 15 課「気になるニュース」

### <行動目標>

日々の生活の中で気になるニュースや事柄について、自分なりに疑問を持って調べ考えたことを周りの人に伝えて、やりとりすることができる。

### <2つのスモールトピック>

#### ST1 「発表の準備」

話し合いの中で、人の話を聞いて自分の考えを言うことができる。

#### ST2 「みんなの前で発表」

あるテーマについて調べた情報やそれについての自分の考えを発表することができる。

### 話してみよう

『できる日本語初中級』の15課のテーマは「気になるニュース」です。日々の生活の中でいろいろなニュースに接していると思います。自分が気になったニュースについて、クラスメイトとやり取りをしながら、その背景などについて調べて、自分なりの考えを深めることができると思います。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。初中級では2枚のイラストと1枚の写真になっています。どのイラスト、写真を使うかは学習者に合わせて選んでください。全部使う必要はありません。

【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

### 質問例



- よくニュース番組を見ますか。
- 最近、見たニュースを教えてください。
- 日本のニュースと自分の国のニュースで違うところがありますか。
- ニュースは何で見ることが多いですか。



- 新聞を読みますか。  
自分の国では読みましたか。
- いつもどんな方法でニュースを知りますか。



- インタビューをしたことがありますか。  
されたことがありますか。

イラストを見ながら、学習者の話を聞いてみてください。イラストや他の学習者の発言をきっかけに学習者の経験を引き出すことができると思います。いろいろな話を聞いてみてください。

【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

### 聞いてみよう

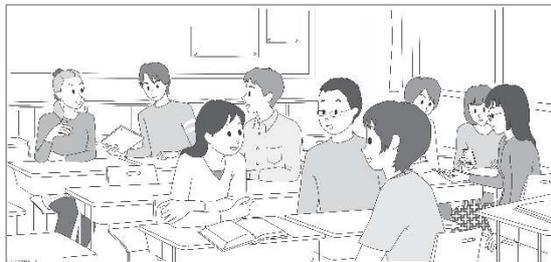
【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。【話してみよう】でテーマについて、学習者の興味が引き寄せられていたら、音声を聞くときには、学習者は聞くことに集中できると思います。既習の学習項目や語彙が増えていることや効果音が使われていることから、どんな状況かがつかめるとと思います。第2版の15課の【聞いてみよう】の内容は第1版と異なっています。第1版では「手紙とメール」についての話題でしたが、時代の変化に合わせて、話題を変更しました。第2版では旅行に関する話題になっています。

## ST1 発表の準備

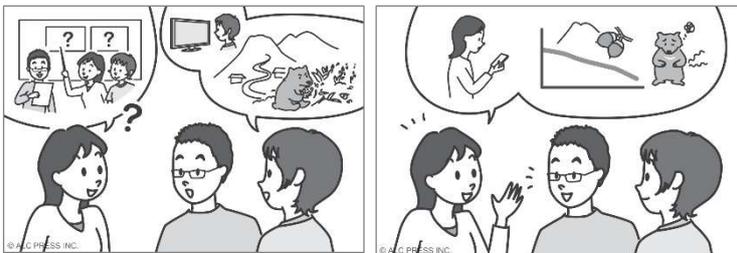
できること：話し合いの中で、人の話を聞いて自分の考えを言うことができる。

### チャレンジ！

状況イラスト：「気になるニュース」について発表することになりました。みんなでテーマを考えています。



1



コマイラスト：ワンさん、ナタポンさん、パクさんは、発表のテーマを相談しています。パクさんがテレビで見たニュースを二人に話すと、ワンさんも同じニュースを見たと言っています。

パクさんがテレビで見たことをクラスメイトに話しているときに、初級 15 課で提出されている伝聞の「そうです」を使ってチャレンジができるといいですね。それが話し言葉では「～んだって」として使われることがわかんと思います。

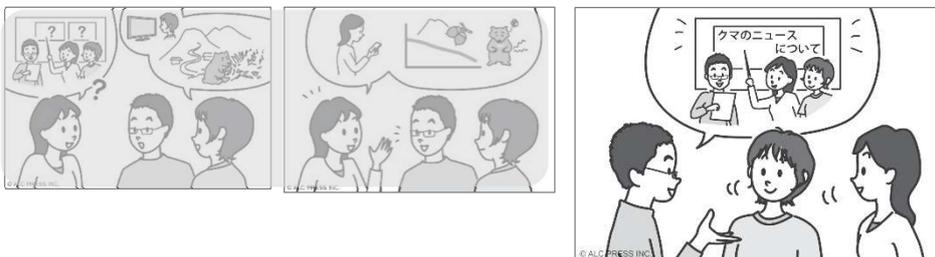
学習項目 ～んだって

### 言ってみよう 別冊1

初中級 4 課で学習した前置きの「～んですが」が使われています。友達言葉になっていることで、難しく感じる学習者もいるかもしれません。その場合は、丁寧に確認してください。前件部分の「ニュースで見た」「テレビで見た」「インターネットで調べた」「店の人に聞いた」など、情報をどこでどうやって得たかの部分をイラストを用意しておくのもいいと思います。別冊にあるキュー以外にも、いろいろな後件と組み合わせる練習することができます。

チャレンジ！

2



コマイラスト：パクさんとワンさんの話を聞いたナタポンさんは、クマのニュースを発表のテーマにすることを提案しています。

2は1からの続きなので、【チャレンジ！】をするとき、必ず1のコマイラストから入って行ってください。

学習項目 V るのはどうですか

言ってみよう

別冊2

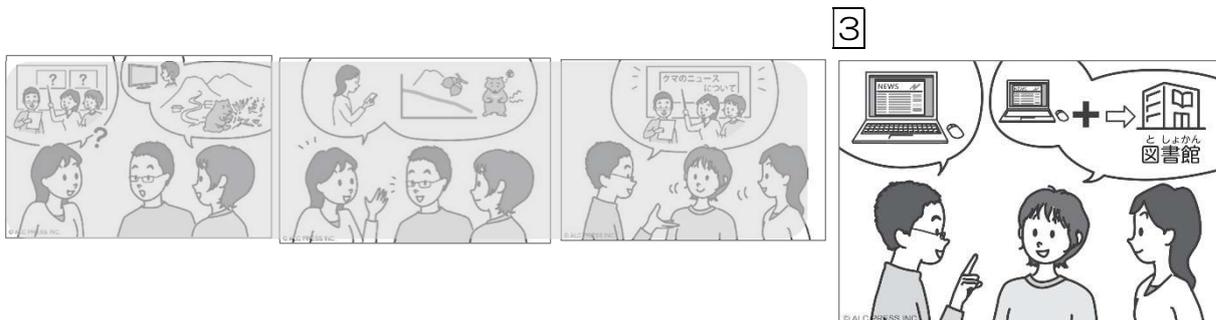
ここでは、「発表の準備」に必要なキューになっています。提案の「V るのはどうですか」は他の場面でもよく使うので、場面を広げて、時間配分にも気をつけながら学習者に合わせてキューを追加するのもいいです。

言ってみよう

本冊1 2

チャレンジの場面状況と同様、3 人のやり取りになっています。Cは があるので、Bの内容を受けて、それに関連したことを言うように促してください。Cの発話の答えは1つではありません。いろいろな案が学習者から出てくるといいですね。グループでの練習の前に、クラスで拡大イラストを見ながら、どんなことが言えるか、一緒に考えるといいと思います。先生方は、事前に「スクリプト&答え例」に目を通しておくと、練習のとき、学習者が何を言ったらいいか困っていたら、どのように日本語を引き出したらいいかのヒントになります。

チャレンジ!



コマイラスト：発表するテーマが決まったので、ナタポンさんがインターネットでニュースについて調べることを提案しています。それを聞いてパクさんは、インターネットだけではなく、図書館へ行って調べることを勧めています。

【チャレンジ!】3のやり取りは、1からつながっているので、【チャレンジ!】の際には、1のコマイラストから始めましょう。

学習項目 ~だけじゃなくて、~も~

言ってみよう 別冊3

例1は「名詞」だけじゃなくて、~」、例2は「動詞」だけじゃなくて、~」、例3は「形容詞」だけじゃなくて、~」になっています。

言ってみよう 本冊3

ここに限ったことではありませんが、会話にキューを当てはめるだけの練習にならないように、会話の流れをしっかり学習者につかんでもらってください。「発表のテーマは決まったけれど、内容についてどうやって調べるか友達に問いかける」→「提案する」→「提案を受けて、さらに自分の考えを追加する」という流れです。

これは、サムネイルにもあるように、チャレンジの会話の流れをおさえることでも確認できます。別冊で、「~だけじゃなくて、~も~」の練習をしたあとで、言ってみように進んだときに、会話の流れがわからないままに練習することのないようにしてください。

チャレンジ！



コマイラスト：ナタポンさん、ワンさん、パクさんは図書館へ行ってみることにりましたが、ワンさんがさくら図書館の利用制限について思い出しました。しかし、パクさんがさくら市に住んでいるので、さくら図書館で本が借りられると話しています。3人は図書館へ行くことにします。

4のやり取りは、1からつながっています。【チャレンジ！】の際には、1のコマイラストから始めましょう。

学習項目 ～ないと

言ってみよう 別冊4

クラスによっては、新たにキューを増やして、後件を考えるような練習をしてもいいと思います。

言ってみよう 本冊4

ペア練習の前に、どのような提案があるか、クラス全体で案を出すとペア練習がしやすくなります。

やってみよう

ST1の「できること」は、「話し合いの中で、人の話を聞いて自分の考えを言うことができる」です。

1つ目の内容は第1版と内容が異なります。教科書には「発表のテーマ」「調べ方」をメモするようになっていますが、授業ではこの答え合わせで終わらせずに、発表のテーマを決めるとき、調べる方法を相談するとき、にはどんな日本語を用いていたかに注目をするようにしてください。

■ 15 課の【できる！】では実際に自分たちが興味を持ったニュースについて調べて発表をするので、ここではその前段階として、教科書にある a, b のニュースを使ってロールプレイとして、「発表の準備」の会話を練習します。

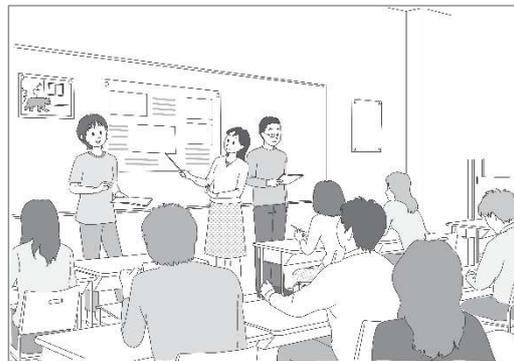
## ST2 みんなの前で発表

できること：あるテーマについて調べた情報やそれについての自分の考えを発表することができる。

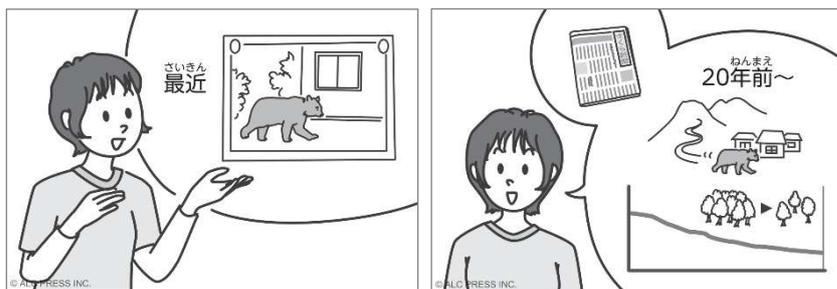
### チャレンジ！

状況イラスト：

パクさんたちは調べたテーマについて、教室で発表をしています。発表はパクさん、ワンさん、ナタポンさんの順にすることにしました。



1



コマイラスト：まず、パクさんが発表をしています。パクさんはクマのニュースについて調べたことをクラスメイトの前で発表しています。パクさんは20年前からクマが家の近くに現れるようになったことを話しています。

【チャレンジ！】の際、学習項目だけに注目するのではなく、どんな状況で発話がされているかにも注意をしてください。1では、パクさんたちが調べたことをクラスメイトの前で発表をしているという状況なので、発表を始めるときにどのように言ったらいいかなどにも注意を促せるといいと思います。

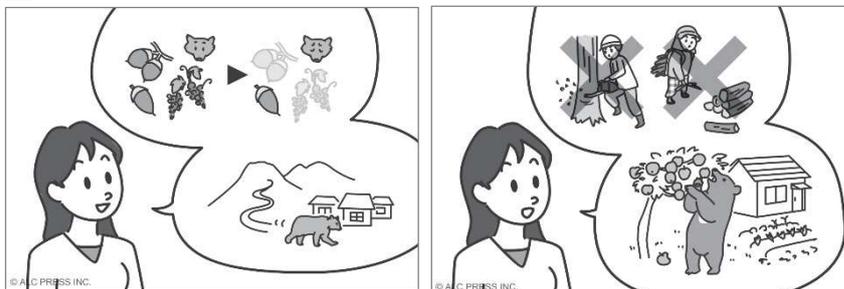
学習項目 V できました

### 言ってみよう 別冊1

別冊にあるキューだけではなく、学習者の国、町の状況について、教師が聞いてみるのも（例えば、子供の数や家の値段など）練習になります。

チャレンジ!

2



コマイラスト：次はワンさんが発表をしています。ワンさんはクマが、人が住んでいるところに出てくるようになった原因について話しています。

クマが、人の住んでいるところに出てくるようになった原因は食べ物が少なくなったことに注目できるようにしてください。「クマが人が住んでいるところに出るようになりました」と言ったときに、吹き出しの上に描かれているイラストとの関係も考えてもらいたいと思います。

学習項目 ～ために、～（原因）

言ってみよう 別冊 2

言ってみよう 本冊 1 2

【できる！】で実際に発表する前に、発表の練習として、しっかり意識して【言ってみよう】1, 2の練習ができるといいです。

「～によると」は、ここが初出です。情報源を表したいとき、「～によると」を使うのだと確認してください。

チャレンジ!

③



コマイラスト：最後はナタポンさんが話しています。ナタポンさんはクマが人の住んでいるところになるようになった原因を話しています。そして、これからどんなことをしなければならぬか、自分たちが考えたことについて話しています。そして、最後に挨拶をして発表を終えています。

学習項目だけに注目するのではなく、発表している状況にも注意を向けてください。そうすると、【やってみよう】や【できる!】につながっていきます。

学習項目 Vていきます

言ってみよう 別冊 ③

グラフを見ながら、その様子を説明し、さらに、自分の予想を言います。「～てきました」は【チャレンジ!】①で既習です。そして、グラフの内容によって、接続詞「そして」「しかし」を用いて、文を続けます。クラスに合わせて、練習の前に、拡大したグラフを見ながら、クラス全体でどのように言ったらいいか一緒に考えてから、練習するといいです。「そして」は初級4課で既習ですが、「しかし」はここが初出です。

言ってみよう 本冊 ③

2文目に  があります。練習を始める前に、クラス全体で一緒に考えるといいと思います。

やってみよう

ST2の「できること」は「あるテーマについて調べた情報やそれについての自分の考えを発表することができる」です。



第2版の内容は第1版と異なります。

音声を聞くとき、簡単なメモをしながら聞くようにアドバイスをしたいと思います。ここでは、答え合わせをして終わりではなく、聞いた音声からこの次に行うタスクで使えるような日本語を学習者に紹介するといいです。例えば、発表のときに必要なフレーズ「それでは、発表を始めます」「これで発表を終わります」、内容を紹介するときの順番を言うフレーズ「まず、～、次に～、」などです。また、発表の構成（挨拶、テーマの紹介、調べたことからわかったこと、自分たちの考え、挨拶）も紹介するといいです。

■ 【できる！】で実際に発表するための練習として、ST1と同様【やってみよう】ではロールプレイとして発表の練習をします。ST1のa、bとST2のa、bは同じテーマです。ST1で選んで練習したものを引き続き、ST2でも練習します。

想定される会話例を「スクリプト&答え例」に載せましたので、先生方はそちらも参考になさってください。会話例は学習者たちが見るものではなく、あくまでも先生方の参考のために掲載しました。

## できる！

この課の行動目標は、「日々の生活の中で気になるニュースや事柄について、自分なりに疑問を持って調べ考えたことを周りの人に伝えて、やりとりすることができる」です。

気になった事柄について調べ、調べてわかったことから自分(グループの場合、自分たち)の考えをまとめて、発表します。発表後も質疑応答などを通して、発表者と聞く人との意見交換もできたらいいと思います。

以下、【できる！】の実践例をご紹介します。

### 【できる！】実践例

- ・気になるニュースについてグループで調べて考えをまとめてプレゼンテーションする。
- ・気になるニュースを読んで内容を要約して、ニュースの内容と自分の考えまとめて発表する。
- ・グループで今気になることについてクラスメイト等にアンケートをし、結果から分かったことや自分たちの考えを発表する。
- ・興味のあるニュースをについて調べ考えをまとめて、グループでポスターを作成し発表する。
- ・グループやペアで興味のあるニュースを選んで、その内容、調べてわかったこと、感想などをまとめて原稿を書き、発表する。
- ・ゲストを招いて、「気になるニュース」について発表する。
- ・NEWS WEB EASY から教師のほうでニュースを7つくらい選んでおき、学習者に興味のあるものを選んでもらう。選んだニュースの内容を5W1Hで要約し、ニュースの内容とそのニュースについての自分の意見をまとめて発表する。

発表の形式(個人でするのか、グループで行うのか)にも配慮することが大切です。14課では紹介したい行事やイベントを個人で発表することが多いので、15課ではグループで行うことが多いです。

15課の【できる！】では、ニュースを調べたり、分担して原稿を書いたりするなどの作業があるので、グループのほうが取り組みやすいと思います。



このタイミングで NHK の「やさしいことばニュース NEWS WEB EASY <https://news.web.nhk/news/easy/>」をよく紹介しています。クラスに合わせて、「やさしいことばニュース」から元のニュースに移動して読む、漢字のルビを外して読む、音声を聞きながら読むといった活用方法を一緒に確認することができます。中級レベルに進んでから、日々日本語でニュースに触れることを習慣にしてほしいと思っています。



発表前に発表の準備や発表までの流れがわかるワークシートを配布しました。

このときは、写真を教師に送ってきてもらい、ポスター作成のために教師が印刷しましたが、padlet に写真をアップしてもらい、発表のときにその写真を見せながらということもできます。

発表が終わったあと、このような振り返りシートを用いて、自分たちの発表を評価してもらっています。シートの内容は、準備段階と発表当日の評価になっています。評価のポイントは、事前に学習者にも見てもらっています。

また、学生たちに準備や発表の目標を、各自あげてもらうこともあります。

15 課できる! 発表

一気になるニュースをグループで相談して、発表する

1. グループで発表のテーマを相談しましょう。

メンバー:

2. 調べましょう。

3. 発表の流れを考えましょう。

どの順番で?

何を見せる?

印刷して見せたい写真、グラフがあったら (担当教師) まで送ってください。

誰が何をする?

4. 練習しましょう。

5. 発表しましょう。

6. 発表を振り返りましょう。

できる日本語初中級

15 課できる! ニュースの発表 振り返り

名前 \_\_\_\_\_

発表のテーマ: .....

メンバー: .....

1. どうでしたか。

◆ 準備

① グループの話し合いはうまくいきましたか。  よくできた  できなかった

② ニュースについてよく調べられましたか。  よくできた  できなかった

③ 発表の流れをしっかり考えましたか。  よくできた  できなかった

◆ 発表

④  よくできた  できなかった

⑤  よくできた  できなかった

⑥  よくできた  できなかった

2. 自分たちの発表について、思ったことを書いてください。

(よくできたこと、大変だったこと、次の発表で頑張りたいことなど)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 話読聞書

15 課の【話読聞書】のテーマは「一生懸命取り組んだこと」です。初中級の最後の課から、中級に向けてステップになるようなテーマにしました。これまでのことを振り返り、新しいレベルでも引き続きがんばってもらいたいと思っています。きっとここまでにいろいろな経験があると思うので、いろいろな話が聞けると思います。教科書の右側にある吹き出しを参考に話を聞いていきましょう。

授業では、まずは教室全体に「今までに一生懸命頑張ったことはどんなことですか」と問いかけ、話してもらおうと思います。そのあと、グループ（3人ぐらいが適当な人数です）になって話します。グループで話したあと、どんな話があったか、教室全体で共有します。時間が限られている場合は、「1人〇分で」としたり、「グループで聞いた話の中で、ぜひこれを他のグループの人にも聞いてもらいたい話」を紹介したりなどとしています。話したあとは、自分が話したことを書いてもらいます。